

なすび

第 44号

目次

1p	特集☆寮紹介
2p	行事報告
3p	部活動報告
4p	部活動報告、今後の予定、編集後記

栃木県那須学園
〒329-2132
矢板市沢900

TEL 0287-43-0573
FAX 0287-43-6886

メール nasu-gakuen
@pref.tochigi.lg.jp

発行日 令和5年10月30日

☆特集☆

今年度もあつという間に後半戦に突入しました。今年度は三カ寮の全寮長が入れ替わりました。今回、各新寮長から「寮紹介&抱負」をいただきました。と思います。

○男子一寮紹介 白井 聡

男子一寮は現在、生徒六名と職員七名で生活しています。三月末に職員の寮編成が決まり、引き続き一寮配属になった職員は二名だけでありました。新しく寮職員になったメンバーは児童自立支援施設での勤務経験はないものの、別の資格を持った専門職として今まで働いてきました。最初はとまどいもあつたと思いますが、今では既に寮の戦力として欠かせない存在になっていきます。また、自立支援施設での経験の長い職員や保育士、看護師、心理士などの多様な資格を持つ職員が、意見交換や情報を共有することを通してONE TEAM(一寮)TEAMでまとまりが取れて



います。そして、児童もがんばっています！最初は自分のことしか考えられない児童がほとんどでしたが、集団生活を通じて、相手がどうすれば困らないか、今何をすれば良いのか、苦しいのは自分だけではないと考えられるようになり、高校受験を控えた中三生を中心に良い雰囲気与生活できるようになりました。児童には、目先のことだけではなく、退園後、あるいはもっと先を見据えて那須学園の一寮で学んだことを糧として自立した生活を営むことができる人間に成長できるように支援して参ります。

○男子二寮紹介 小鍋 良和

今年度から男子第二寮長になりました小鍋と申します。昨年度までは女子寮の職員をしており、男子寮の処遇は実に十一年ぶりです。加えて初の寮長業務ということもあり、年度当初は戸惑いもありましたが、力のあるチームの仲間を支えてもらいながら、やつと自分自身が落ち着いて寮運営を行うことができるようになりました。

現在の男子第二寮は、児童五名、職員七名での生活となっております。今年度は児童三名でのスタートでしたが、そのうち二名は夏休み中に自立達成で退園しました。五月からはほぼ毎月入所があり、現在の児童数となっております。学園での生活歴が短い児童が多い寮であり、学園としての基礎基本の定着がままならず、職員がその都度、手取り足取り教えている毎日ですが、児童らは皆、将来の自分のためにと、日々様々なことを乾いたスポンジのように吸収しています。フレッシュさが良い方向に向かっていく寮の雰囲気があるため、寮としての地盤をしっかりと固め、年度末に向けて更なる児童の成長に期待しつつ、日々、職員が児童

と向き合い、良い寮となるよう励んでいきたいと思えます。

○女子寮紹介 早川 和美

今年度から女子寮長になりました早川と申します。女子寮にきて五年目を迎えました。

今年度は五月から無断外出が続出し、波乱の幕開けでした。寮長が変わるタイミングで寮が荒れるのは想定していましたが、これほどまでに厳しい状況になるとは思わず、今寮にいる子ども達を守ることで精一杯の時期もありました。半年が経過し、子ども達は落ち着いた生活を取り戻し、自分の課題に向き合っています。ただ、一難去つてまた一難という状況は今も変わらず、何かしら悩みの種がつかないのも現状です。

現在一緒に生活している六名の子ども達は、私自身の五年間の女子寮生活の中で一番と言つてよい程、優しく素直な子ども達の集まりです。女子寮といえば、人間関係でギスギス、陰でコソコソ、裏でネチネチと面倒なことが多いのですが、今のメンバーは、職員の言葉を受け止め、自分が変わることに焦点を当てて努力しています。時に失敗することもありますが、それも学びになっています。これもこれまでの女子寮の土台を築いてくれた職員と、現在丁寧に指導してくれている職員のおかげだと思えます。この良さを次に繋げられるよう、頑張ります。

☆行事報告☆

☆流しそうめん会

七月十八日

那須学園では夏休み前の締めくくりとして、夏休み前最後の登校日に流しそうめん会を実施しています。流す竹は手作りです、今年度は園内の竹林から切ってきたものを使用し、中卒生と職員で作成しました。今年度はめんつゆを入れる容器も竹を切つて用意しました。流しそうめんを初めて体験する子どもも多く、麺を流すたびに歓声が沸きました。流れてきたそうめんは舌鼓を打ち、最後は恒例のお菓子やおもちの具材が流れてきて会場は大興奮。本格的な流しそうめんを堪能しました。担当者としては、来年度は食べる楽しみの他にも、流し台を子供達全員で作ることと体験してほしいなと思います。

☆海浜宿泊学習

七月十九日～二十日

七月十九日から二十日にかけて、とちぎ海浜自然の家で宿泊学習を行いました。海なし県を出発し、バスから海が見えると「海だー」と感動の声が上がりました。現地到着後、地図を参考にチェックポイントを探索すオリエンテーリングをしました。地図を読むのが得意な子、運動が得意な子、何事にも前向きに取り組みやすい子など、それぞれの持ち味を生かし、役割分担しながら協力して取り組むことができました。浜辺では、裸足

で波打ち際で戯れたり、貝殻拾いをする子ども達。「空気がきれい」と満足気な表情で海風を浴びていた姿が印象的でした。海の自然にふれあいながら、花火やバイキング、水族館見学などの活動を通し、公共心や協調性を学びました。

☆生き物調査

九月十一日

沢環境保全会の活動の一環として、地域の方々と一緒に那須学園内に流れる小川で、魚や虫など水辺の生物を捕まえて数や種類などを調べる生き物調査を行いました。

川に一度も入った経験がほとんど無かった子どもたちですが、服が濡れることにおかまいなしに川に入って、夢中になって魚などの生き物を素手で捕まえていました。今年の調査でも清流にしか生息しないとされている鮎やカジカなどを確認することができました。子ども達にとっては生き物を捕まえることだけでなく、地域の方々と交流も楽しみのひとつになっています。恵まれた自然環境の中で生活できるありがたさを子どもたちと共有するとともにこうした自然環境や地域の方々との温かい交流の場をこれからも大切にしていきたいと思っています。



☆学園祭

九月二十二日

那須学園の三大行事の一つになっている学園祭を今年も開催しました。那須学園の学園祭は児童の前籍学校の先生や関係機関の方々、日頃からお世話になっている地域の方々も多数御来場いただきました。今年は何年よりも参加者が多く、盛大に開催することができました。

今年もおもてなしの意味を込めて、早い時期から園内の環境整備などの準備を進めました。子ども達から「あそこもきれいにしたい」「あの場所の草が気になる」といった発言があり、自主的に環境整備に取り組み様子が見られました。店頭の装飾品作りは分校の協力を得ながら準備を進めました。先生が子ども達のアイデアを引き出し、できた個性溢れる飾り付けが学園祭を彩りました。



学園祭当日は雨の予報が出ていましたが子ども達の元気で吹き飛ばし、予定通り野外で開催することができました。各模擬店（たこ焼き、パンケーキ、ドリンク、ラーメン、輪投げコーナー）で元気いっぱい接客している子ども達はとても楽しそうに来園してくれたお客さんも満足してくれていたと思います。特に今年初めて模擬店として登場した遊びコーナー（輪投げ）は大反響で年配の方から子どもまでが真剣に取り組み大盛り上がりでした。パーフェクト賞として那須学園産コシヒカリを用意しました。見事パーフェクトを出した時は歓声が沸きました。

こうして様々な方々に支えられていることを実感する機会がもてたことに感謝しています。また、こうした経験が子ども達の成長に繋がってくればと願っています。

☆部活動報告☆

☆野球部

二月から始まった野球部ですが最終目標である関東少年野球大会に出場してきました。今年のチームには野球経験のある児童が一人もおらず、基本的なメニユーを中心に練習を重ねてきました。泥臭い練習でも前向きに練習に取り組む姿勢には感心するほどでした。

六月十五日の関東少年野球大会当日。緊張してよく眠れなかった児童もいたようですが、部員全員引き締まった良い表情で出発しました。試合は両チーム譲らずの展開。最後の最後まで接戦の展開でしたが結果は一点差で敗北。試合後、素人ばかりだった部員たちが本気で悔しそうにしている様子を見て、監督としてなぜだか誇らしく感じました。

野球部の活動を締めくくるため、大会の翌日に部員、スタッフで集まりました。ここまでの活動の振り返りを行いました。皆、それぞれの思いを言葉にしましたが、中には「もう少しみんなでやれたかった」と涙する児童も…。野球部のスタートの頃と比べると、子供達が一回りたくましく見えました。活動を通して学んだことを、今後にぜひ活かしてくれらると願っています。

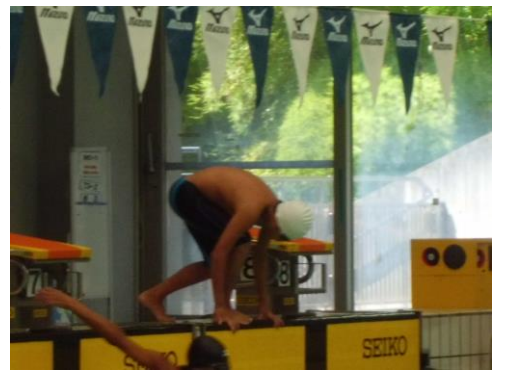


☆男子水泳部

栃木県は夏に雷が多いことで有名で、例年水泳の練習ができない日が多いのですが、今年度は天候に恵まれ、ほぼ毎日練習することができました。男子水泳部は「自分に負けないう」「記録への挑戦」「仲間を応援する」を目標に練習に励みました。水泳部が始まった当初はすぐに弱音を吐いてしまうことがありましたが、それでも、先生方の協力や応援、周りの励ましをもらい上達し、大会では全員が最後まで全力で泳ぎ切ることができ、最高の笑顔を見せてくれました。水泳を最後までやり遂げられたことが自信に繋がりと、その後の学園での生活の様子にも変化が見られました。子供達はできないことでもやればできるということ、頑張った先には結果がついてくるという確かな手応えを得ており、生活場面で実践しています。水泳部で頑張った経験を今後の生活でも生かしてくれたらと思っています。

☆女子水泳部

今年度も関東少年水泳大会に参加してきました。女子水泳部は、六月十二日に学園でプール開きとなり、そこから大会に向けて練習がスタートしました。私は女子水泳部の監督は初めてで、また昨年度学園の大会経験者は一人、なのでほとんどの児童が初心者ということで素人集団としての出発となりました。練習を重ねることである程度泳げるようになりましたが練習を頑張っても記録が伸びず、大会までみんな悩み続けました。その中で児童は自分に負けず練習に励んだ結果、大会では個人戦種目で出場した児童全員が入賞を果たし、また団体総合でも二位の好成績を残すことができました。優勝こそ逃しましたが児童全員が涙を流しながら互いの健闘を讃え合いました。大会まで応援してくださった皆様に本当に感謝です。



☆バレーボール部

四月から始まったバレーボール部。初めは基礎練習の繰り返しでしたが、今年度は例年に比べて実践練習に入るのが早く、その分練習試合も早くから組むことが出来ました。他の施設との練習試合を三試合行い、全ての試合勝つことが出来ました。しかし今年のチームの課題は明確。良い雰囲気の時はその流れに乗ることが出来ますが、一旦流れを失うと、自分たちの力で取り戻すことが苦手なことです。チーム全員で声を掛け合い、どのような状況下でも自分たちの雰囲気を出せるよう、日々練習に励んでいます。今年の目標は「優勝」ただ一つ。一致団結したチームワークで、十月二十六日に行われる大会に臨んでいきます。



☆卓球部

今年は九人でのスタートとなりました。昨年度の経験者が一人しかおらず、しかもその児童は昨年は小学生だったため、実質的には初心者集団のようなものです。しかし、今年は卓球が好きな子が多いため一日一日、練習をこなしていくたびに上達しているのがわかり、非常に頼もしいなあと感じています。あとは、練習での力を試合でも十分発揮できるようにメンタル面を鍛えて、今年こそは念願の決勝進出を実現したいと思っています。子ども達のさらなる成長が楽しみです。



☆吹奏楽部

今年度の吹奏楽部は、十一月の関東少年文化祭（茨城）、十二月のクリスマス会での演奏に加えて、一月にマロニエウインドオーケストラさんとの合同演奏会、二月には更生保護女性会の皆さんを招いての演奏会等、例年になく盛りだくさんで活動しています。夏休みには宇都宮

ジャズフェスティバルに招待されてプロのジャズ奏者の演奏を生で鑑賞することもできました。また、園内でも、学園職員と分校教員で課題曲を弾き語りを披露するなど、子どもと大人が一体となって音楽に親しむ雰囲気醸成されています。

普段は毎週月・金曜日に音楽講師の小池春男先生のご助言もいただきながら、練習に励んでいます。自主的に個人練習をする子がいたり、よりきれいな音色を奏でられるよう各自、向上心を持って練習に取り組む姿勢が見られ、最初の頃と比べると見違えるほどの上達を見せています。子どもたちを支えて応援してくださっている方への感謝を忘れず、心をこめて演奏をしていきたいです。



〈那須学園の自慢〉

那須学園には水田があり、田植えから稲刈りまで児童、職員、分校教員が行っています。九月下旬に園内行事として稲刈りを行いました。今ではほとんど見られなくなっただけで掛けは学園の風物詩となっています。

苦勞して育てた学園産の新米は格別な美味しさです。こういった経験を通して、日頃の食に関心をもつことや感謝の気持ちを感じられる人に育ってもらえたら嬉しいのです。



今後の予定

- 十一月十七日 収穫感謝祭
- 十一月十八日 マロニエオーケストラとの演奏会
- 十一月二十二日 関東少年文化祭
- 十二月 七日 関東少年卓球大会
- 十二月十七日 クリスマス会
- 一月 十二日 第一回スキー教室
- 一月 十九日 第二回スキー教室
- 二月 九日 園内マラソン大会

編集後記

野球、水泳に明け暮れた夏が終わり、あつという間に秋が来ました。また周りには黄金に輝く稲穂、金木犀の匂い、おいしい食材、秋の深まりを感じます。現在、男子は卓球、女子はバレーに熱くなっています。そして、中三生は受験モードに入ってきています。目標に向かって頑張ってください。

育成課

齋藤・福田・黒川